

# 株式会社キッソオ



めがね資材やめがねの技術と資材を用いたレディースアクセサリブランド『KISSO』を全国展開しています。

## メガネを身近に

キッソオは鯖江市丸山町に本社を構える、眼鏡資材を販売する会社です。眼鏡用の金属材料、樹脂材料、部品から設備や工作機械までのトータルな商材を扱い眼鏡産業のサポートをしています。アクセサリ事業も行っており、色鮮やかでわくわくするアクセサリを作っています。

企業理念として『自らがイノベーションをおこし、顧客に感動を与え、感謝される存在感のある企業として、眼鏡という地場産業の発展に貢献し続ける』を掲げ、めがねの街鯖江でめがねの伝統技術を継承すべくめがねからカタチを変えたモノづくりも行っています。眼鏡のセルフレームと同じ素

材の半合成樹脂であるアセテートは飴細工のように練りこんで作る昔ながらの手法で作られたもので、その板を更に何層も貼り合わせ、柄を作っていくアクセサリは、独自のカラフルな模様と人間らしい温かみ特徴です。眼鏡と同じ素材を使って作られたアクセサリなどは眼鏡をより身近に感じる事が出来ます。

アクセサリ開発のコンセプトは『わくわく』でお客様にわくわくしてもらうことはもちろん、働いている自分たちもわくわくしながら取り組みチャレンジすることをモットーにしています。

## Q&A

管理職の方

**Q.会社を作り上げていく上でどのようなビジョンをお持ちですか？**

A. 『KISSO』を日本一の愛されるアクセサリブランドにすることです。また材料商社として、めがねの産地の縁の下力持ちという存在として、ソリューションプロバイダーとして絶対的な存在になること。

**Q.どのような人を社員として求めていますか？**

A. 誠実で、何事にも好奇心があり、環境の変化とともに変わることができ、打ちのめされても這い上がれる人を社員として求めています。

**Q.職場の雰囲気はいかがですか？**

A. 女性が多い職場で、たくさんの女性が活躍しています。しっかり仕事をしつつ、雑談を交えたり音楽をかけたりして和やかで良い雰囲気です。

**Q.入社前の株式会社キッソオへの印象はどのようなものでしたか？**

A. 眼鏡業界全体がリーマンショックで落ち込んでいる時期に、眼鏡だけではなくアクセサリという全く違う業界へ目を向け、自ら積極的にモノづくりをしていこうというチャレンジ精神に好印象を受けました。

**Q.どのようなところにやりがいを感じますか？**

A. 前職では公告、広報、展示会、イベントの企画などを行っていたため、それらを活かせることです。WEBレイアウトや、画面上で商品をキレイに表示して見せて販促につなげるなど、自分が得意とする分野で力が発揮できていることにやりがいを感じています。

**Q.働く上で心がけていることは何ですか？**

A. ブランドの価値を上げ、先方からお店で扱いたいと言ってもらえるような仕組みを作っていくことです。DMやプレスリリースなどの方法も工夫しています。また、働く時は働く、休む時は休むといったメリハリを付け、家族や友人との時間も大切にしています。

若手社員

若手社員からのメッセージ



材料事業部/アクセサリ事業部/  
環境事業部  
ディレクター **野尻 竜生さん**  
入社8年目。

大学卒業後、関西および県内の制作会社などで就業した後、キッソオに入社。福井は山も海もある落ち着いたことのできる場所で、空気もご飯も美味しいので仕事だけでなく休みの日の遊びも充実しているところです。なので、そのようなところを魅力に感じる方には是非福井に就職していただきたいです。

### < 1日の流れ >

- 8:30 出社
- 8:45 全体ミーティング
- 9:00 アクセサリミーティング  
メールチェック
- 10:00 材料納品・部品量産メーカー回り
- 12:00 昼食休憩
- 13:00 オンライン商談
- 14:00 SNS戦略計画検討ミーティング
- 16:00 部品量産メーカー回り
- 17:00 アクセサリ出荷チェック
- 18:00 退社

取材した人



村中 彩雪さんの  
取材後記

取材させていただいたキッソオさまは、メガネの伝統をメガネという形に捕らわれず、新しいアプローチのされ方をされていました。取材時にはたくさんの魅力を伝えてくださり、福井県の伝統技術が誇らしくなりました。